

(様式3)

農業研究成果情報

No. 828 (平成30年5月) 分類コード 01-11 熊本県農林水産部

春播きトウモロコシ「P0640」「ゴールドデントKD641」「サイレージコンNS118スーパー」の  
熊本県における品種特性

「P0640」「ゴールドデントKD641」「サイレージコンNS118スーパー」は、多収性、耐倒伏性及び耐病性に優れ、熊本県における春播きトウモロコシ品種として有望である。

農業研究センター畜産研究所飼料研究室 (担当者: 北川まき)

研究のねらい

本県における飼料用トウモロコシについて、新たな優良品種の早急な普及を図る目的で、数年以内に市販開始予定の新品種を中心に収量性やその他の諸特性について調査し、本県の奨励品種である「34B39」を比較品種として、これと同等以上の能力を有する品種を選定する。

研究の成果

1. 「P0640」「ゴールドデントKD641」及び「サイレージコンNS118スーパー」の播種から収穫適期までの日数は、114～115日で、4月上旬に播種した場合、8月上旬に収穫できる(表1)。
2. 「P0640」「ゴールドデントKD641」及び「サイレージコンNS118スーパー」は、比較品種と同程度の耐倒伏性が期待できる(表2)。
3. 「P0640」「ゴールドデントKD641」及び「サイレージコンNS118スーパー」の病虫害への抵抗性は、比較品種と同程度である(表2)。
4. 「P0640」「ゴールドデントKD641」及び「サイレージコンNS118スーパー」は、比較品種と同等の乾物収量が期待でき、本県における飼料用トウモロコシ品種として有望である(表3、図1)。

※比較品種: 過去3年間の試験データに基づき、熊本県で奨励品種に指定されている品種

普及上の留意点

1. 生育状況および収量については気象・土壌環境の変化による影響を受けるため、施肥管理や適正な時期における播種を徹底すること。

表1 生育特性に関する調査結果

系統名	品種名	相対熟度	播種から収	初期生育	稈長	着雌穂高	着雌穂高 ／稈長
			穫適期まで の日数				
			日	極不良1～極良9	cm	cm	%
X05C076	P0640	110	114.7	6.2	272.5	112.1	41.1
KE2620	ゴールトデントKD641	114	115.3	5.7	264.5	118.6	44.8
KE1671A	サレージコンNS118スーパー	118	115.3	5.9	276.1	130.9	47.4
34B39(比較)	パイオニア115日	115	114.7	6.2	279.6	129.1	46.2

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 播種期は、平成27年3月31日、平成28年4月5日及び平成29年4月5日。
- 3) 1区は12㎡とし3反復で実施した。
- 4) 施肥量は、N:1.5kg/a、P2O5:1.5kg/a、K2O:1.5kg/a。
- 5) 収量調査は、絹糸抽出期から38日目を基準とした。

表2 倒伏性、病害抵抗性に関する調査結果

系統名	品種名	倒伏	折損	虫害	紋枯病 罹病率
		%	%	%	%
X05C076	P0640	1.4	0.0	8.8	24.0
KE2620	ゴールトデントKD641	0.0	0.0	11.7	31.1
KE1671A	サレージコンNS118スーパー	2.0	0.2	5.2	23.6
34B39(比較)	パイオニア115日	0.4	0.0	5.9	29.8

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 虫害はイネヨトウによる倒伏
- 3) 試験ほ場は、連作により紋枯病が発生している。

表3 乾物収量に関する調査結果

系統名	品種名	乾物茎葉	乾物雌穂	総乾物	総
		収量	収量	収量	乾物率
		kg/a	kg/a	kg/a	%
X05C076	P0640	94.9	83.3	178.1	30.8 a
KE2620	ゴールトデントKD641	95.0	83.0	178.0	28.8 b
KE1671A	サレージコンNS118スーパー	100.0	75.4	175.4	28.5 b
34B39(比較)	パイオニア115日	95.9	85.8	181.7	29.2 b

- 1) 数値は調査年の平均
- 2) 異符号間は有意差あり(T検定、 $p < 0.05$ )

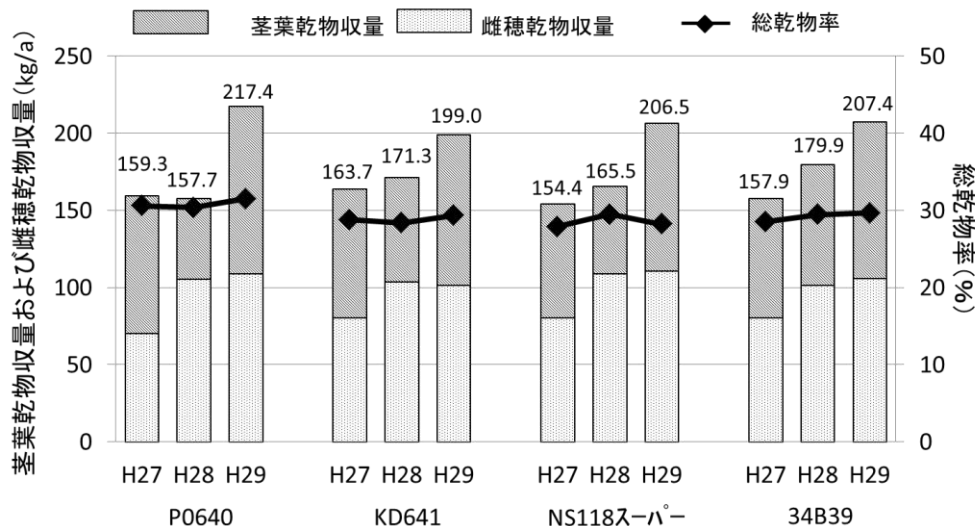


図1 品種ごとの3カ年の茎葉乾物収量・雌穂乾物収量及び総乾物率